

平成 29 年度 社会福祉法人なごみの会 事業計画

1. 趣旨

法人及び施設が平成 29 年度に実施する基本的な項目、内容等について職員の討議により具体化し理事会及び評議員会に諮り、決定内容について、各職員に周知し実施するものとする。

2. 基本項目

I 法人の基本理念及び方針……………2

1. 法人の経営方針
2. 法人の重点取り組み施策
3. 平成 29 年度事業の経営方針

II 施設の運営方針・取組……………4

1. 特養、ケアハウス、ヘルパーステーション、デイサービス運営方針・取組等
(1) 業務の円滑な運営とサービス内容の向上
2. 介護保険業務運営の推進
3. 人材育成計画
4. 設備整備計画
5. 災害対策
6. 施設維持管理
7. 安全衛生管理
8. その他

III 組 織……………9

1. なごみの会組織表
2. なごみの会組織

IV サービス部門の月次計画……………10

<業務・会議・行事>

1. 今治なごみ苑
(1) 事務部
(2) 看・介護・機能訓練部門
(3) 栄養部門
2. ケアハウスなごみ
(1) 生活サービス
3. ヘルパーステーションなごみ
(1) 居宅サービス

4. デイサービスなごみ

(1) 居宅サービス

5. デイサービストリトン

(1) 居宅サービス

V サービス部門の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

I 法人の基本理念及び方針

1. 法人経営方針

(1) 法人の基本理念「私達も家族です」

利用者さん一人一人は障害があるけれども安心して楽しく過ごせるアミニティ(快適な環境)とQOL(生活の質)を大切にして、心豊かに生きることをご家族とともに支援します。

(2) 経営思想

<生活環境サービス>

- ・心安らぐ我が家を目指した生活環境で、お過ごしできるサービスを提供します。

<ユニットケア体制サービス>

- ・利用者さんの個性を尊重して家庭的なグループで介護ができるユニットケア体制でアットホームな介護に努めます。

<仕事を通じ職員の意識改革>

- ・利用者さんと共に私達職員一人一人は目的意識を持って頑張ります。

(3) 行動指針

- ◇ 利用者さんのみんなが笑顔で心豊かに暮らしていただけるよう、我が家を目指して行動します。
- ◇ 見守る家族の気持ちで、スタッフ一同はアットホームな介護を目指して行動します。
- ◇ 自らの能力の向上を図り、利用者さんにとって居心地の良い施設を目指して行動します。

2. 法人重点取組施策

(1) 運営の基本方針

法人運営の基盤確保のため、介護の質の向上を目指して、業務の見直しと事務の円滑化の推進を図る。

(2) 平成 29 年度事業

- ①理事会・評議員会の開催(6月、9月、3月)
- ②監事監査の実施(5月、9月、3月)
- ③サービス評価の実施(10月)
- ④主任者会議の開催(月2回)
- ⑥各種委員会の開催(月1回)
 - ・行事計画・地域交流委員会
 - ・広報委員会
 - ・災害時対策委員会

- ・衛生委員会
- ・日常生活改善（アメニティ・ＱＯＬ）専門委員会
 - 給食委員会
 - 身体拘束廃止委員会
 - 褥瘡防止対策委員会
 - 感染・事故防止対策委員会
 - ＱＯＬ向上委員会
 - ターミナルケア委員会
 - 業務改善委員会

⑦ユニット会議の開催（月１回）

(3) 事業の運営管理

- ①各種規程の改正
- ②介護保険制度改正への対応

3. 平成 29 年度事業の経営方針

(1) 安全・安心の提供

- ・安全な環境づくりを推進し、事故予防に努める。
- ・安心して過ごせる生活と活動の場を提供する。
- ・利用者さんに心から満足していただけるサービスを提供する。

(2) 福祉サービスの提供

- ・介護保険制度の改革・改正に向けた対応。

(3) 人材の育成

- ・組織の確立と運営の活性化、マネジメント機能の強化。

(4) 経営・管理の合理化、効率化

- ・財務の健全運営のための施策の検討。

(5) 福祉サービスの充実

- ・利用者さんと地域住民が安心できる福祉サービスの提供。

Ⅱ 施設の運営方針・取組

1. 特養・ケアハウス・ヘルパーステーション・デイサービスの運営方針・取組等

◇特別養護老人ホーム今治なごみ苑

1 施設の運営方針

- ①施設は、可能な限り、居宅における生活を念頭において、入浴・排泄・食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことにより、入所者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むようにすることを目指します。
- ②施設は、入所者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場にたって指定介護老人福祉施設サービスの提供に努めます。
- ③施設は、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

2 施設の処遇方針

- ①入所者やご家族の皆様と一緒にあって家庭的な雰囲気が味わえ、かつ、地域の方々に信頼される施設となるよう努めます。
- ②入所者の意思を尊重しながら、バイタリティあふれるスタッフとともに、自立を促し、残存能力を引き出させるよう努めます。
- ③従来の固定観念にとらわれることなく、入所者に自由を感じてもらえるような運営を目指します。
- ④医療機関との連携や介護体制の充実を図り、入所者やご家族の方々に安心感を与える運営に努めます。
- ⑤周囲の豊かな自然のもと、施設にも緑を多く取り入れ、入所者が日々癒されるような生活環境づくりを目指します。
- ⑥家族会との連携を図り、利用者及びご家族に信頼される施設となるよう努めます。

◇ケアハウスなごみ

1 施設の方針

- ①ケアハウスが居宅であることを踏まえつつ、高齢者の特性に配慮した、住み良い生活空間を提供し、入居者の自立性の尊重を基本として、入居者が明るく心豊かに生活できるよう処遇に万全を期します。

2 本年度における取組・目標等

- ①施設サービスの向上：提供したサービスに関し、入居者の意見を聞き、施設サービスの向上を図ります。
- ②苦情への迅速な対応：入居者やご家族からの苦情が寄せられた場合には、速やかに対策を検討して、サービスの改善に努めます。
- ③地 域 と の 交 流：季節に応じた行事や趣味活動を取り入れ、入居者の生活の広がりや充実を図ります。

◇ヘルパーステーションなごみ

1 運営方針

- ①高齢者の居る家庭や、一人暮らしの高齢者で障害があり、日常生活に困っている家庭での介護の援助を行うにあたり、援助をされる方の気持ちになり、かゆいところまで手が届く、心のこもった介護に努めます。
- ②誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう心のふれあいを大事にしたお手伝いを致します。また、利用者やご家族の力強い味方になれるような事業を展開していきます。
- ③自らの意思に基づき、自立した質の高い生活が送れるよう支援します。
 - ・心豊かで健やかな暮らしをお手伝い。
 - ・優しさと思いやりを持った人づくりのお手伝い。

◇デイサービスなごみ

1 運営方針

- ①要介護状態等の心身の特性を踏まえて、そのご利用者が可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、さらにご利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護その他必要な援助を行います。
- ②事業の実施に当たっては、ご利用者の意思及び人格を尊重し、常にご利用者の立場に立ってサービスの提供に努めるものとします。さらに、地域との結びつきを重視し、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスを提供する者との綿密な連携を図るよう努めます。

◇デイサービストリトン

1 運営方針

- ①利用者の意思及び人格を尊重し、利用者が可能な限りその自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを支援していきます。
- ②事業の実施に当たっては、関係市町、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。
- ③利用者及び家族に安心してご利用いただけるよう、相談等を親身に行い、大島の暮らしを共に歩んでいきます。

2 介護保険業務の推進

- (1) 介護保険業務を円滑に行う。
- (2) 介護保険サービス提供事業者として丁寧なサービスを提供する。
 - ①介護老人福祉施設
 - ②訪問介護事業
 - ③認知症対応型通所介護事業
 - ④通所介護事業
- (3) 情報システムの構築
 - ①介護支援システムによる業務の簡素化、介護サービスの向上に向けて検討
- (4) 介護サービス事業の展開・確認
 - ①介護保険サービスの質の評価（第三者評価）への対応
 - ・利用者本位のサービスの提供
 - ・具体的介護行為（技術）評価
 - ・人間の尊厳・人権尊重確保
 - ・利用者保護
 - ・個別対応の重視
 - ・介護サービス水準の標準化
 - ・利用者満足度に関する評価の実施
 - ・運営体制（理念・経営方針・組織）
 - ・職員の専門性の確保（教育・研修等）
 - ・地域との連携
 - ・利用者ニーズ、苦情等の把握と対応
 - ・サービスの質を確保するための投資

3 人材育成計画

- (1) 職員研修、資格取得促進等の充実
 - ①OJT・OFF-JTの推進
 - ・勉強会・セミナーへの参加（外部への研修参加による報告会等）
 - ・外部研修による知識・技能の向上
 - ②資格取得の推進

4 設備整備計画

- (1) 安全な設備整備と環境整備を計画的に行う。
 - ①共同募金会等の助成申請
 - ②業務の省力化

5 災害対策

- (1) 災害防止及び災害に備えた災害対策計画の構築
 - ①消防計画、防災計画の作成
 - ②備蓄物品等の整備、適正な管理を図る。

6 施設維持管理

- (1) 施設内外の保全状態を常に良好に保ち、利用者の安全と生活環境の維持向上、損害、事故の防止に努める。

7 安全衛生管理

- (1) 施設環境を常に清潔に保ち、施設内感染や疾病発生の予防等衛生管理に努める。
 - ① 日常清掃、定期清掃、定期消毒等々の実施及び廃棄物等の適正な処理
 - ② 職員における定期健診、細菌検査の実施
 - ③ インフルエンザ、MRSA、病原性大腸菌等の感染症防止対策の徹底

8 その他

- (1) ユニット食事サービスの研究、ターミナルケア期における食事療法等の研究

Ⅲ 社会福祉法人なごみの会 組織

1 事業経営

(1) 第1種社会福祉事業

- ①指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム今治なごみ苑）
- ②軽費老人ホーム（ケアハウスなごみ）

(2) 第2種社会福祉事業

- ①老人居宅介護等事業（ヘルパーステーションなごみ）
- ②老人短期入所生活介護事業（今治なごみ苑）
- ③認知症対応型通所介護事業（デイサービスなごみ）
- ④通所介護事業（デイサービストリトン）

2 事業の活動

(1) 特別養護老人ホーム今治なごみ苑

①看・介護部

- ・日常生活援助
- ・ターミナル看介護
- ・認知症介護
- ・ケアプラン、アセスメントの企画及び実施
- ・日常生活動作訓練

②生活相談

- ・入所者の生活相談、アセスメント、サービス調整・管理等
- ・家族の各種相談対応
- ・苦情検討・対策

③栄養部

- ・栄養指導・管理
- ・衛生管理
- ・調理管理

(2) ケアハウスなごみ

- ①生活サービス
- ②生活相談
- ③食事サービス

(3) ヘルパーステーションなごみ

①訪問介護

- イ 生活援助：掃除、洗濯、買い物、調理等
- ロ 身体援助：食事の介助、排泄の介助、入浴の介助、体位変換の介助、通院の付き添い介助、身体の清潔保持等
- ハ 生活等の相談・援助及び関係機関との連絡

(4) デイサービスなごみ

①認知症対応型通所介護

- イ 送迎サービス
- ロ 看護職員による健康チェック
- ハ 個別機能訓練・日常動作訓練
- ニ 入浴や食事の提供
- ホ レクリエーションや利用者同士の交流
- へ 利用者及びその家族の日常生活における介護等に関する相談及び助言

(5) デイサービストリトン

①通所介護

- イ 入浴、排泄、食事、着替等の介護
- ロ 入浴、食事の提供
- ハ 個別機能訓練
- ニ 集団・個別でのレクリエーション
- ホ 健康チェック
- へ 利用者、家族への介護等に関する相談
- ト 送迎サービス

(6) 事務部

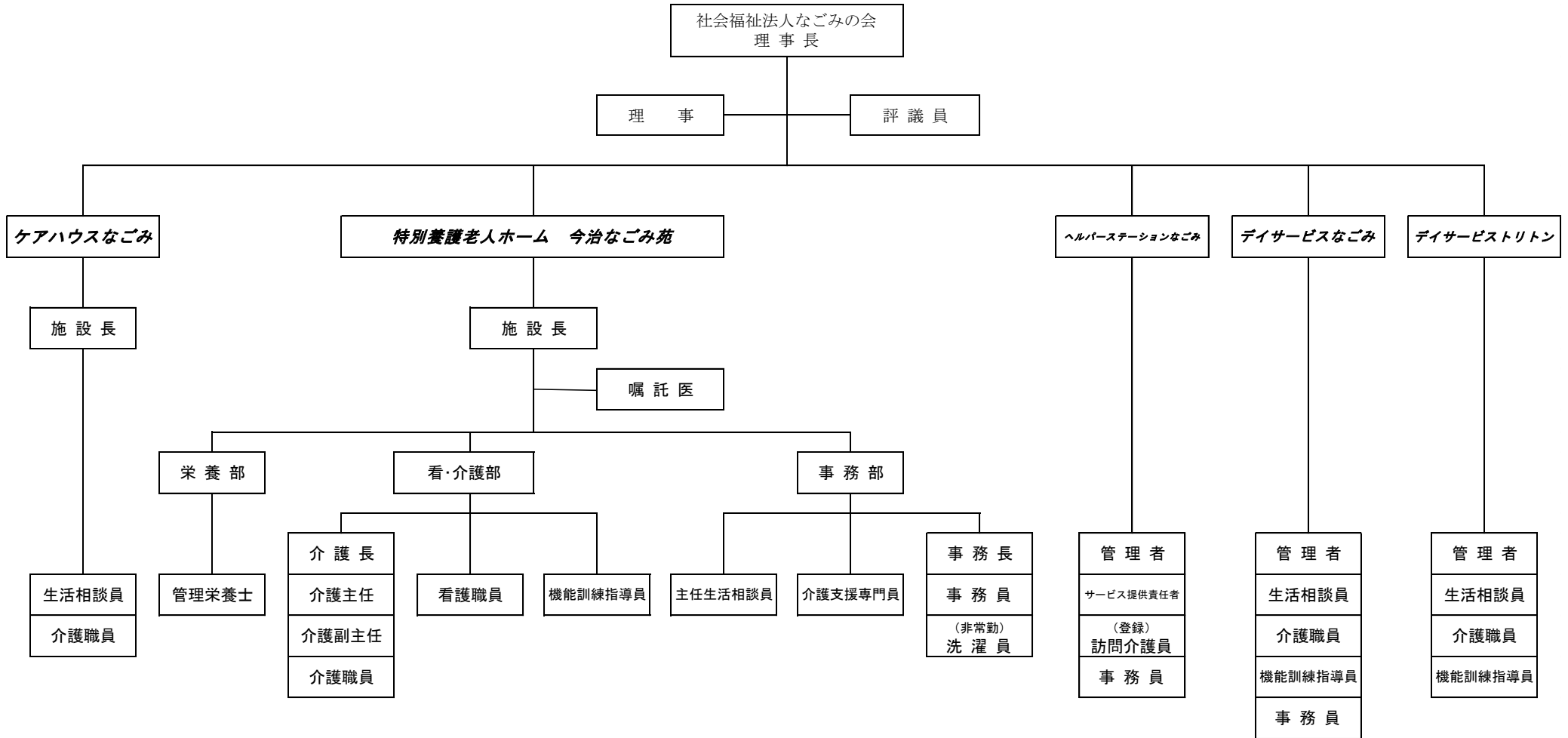
①総務・庶務・経理

- ・総務・庶務：人事管理、労務管理、人材育成、研修、教育
(雇用関係手続き・公文書管理・行政関係諸報告・防災関係・安全管理・建物管理)
- ・経理
(会計経理(資産管理)・社会福祉会計・介護保険請求・利用者負担金経理・収益管理)

(7) 医務室

- ①医療診断
- ②健康相談
- ③診察

社会福祉法人なごみの会 組織表（平成 29 年度）



Ⅳ 各サービス部門の月次計画（予定）

月	事務部	看・介護・リハビリ部	栄養部	ケアハウス	ヘルパー	デイサービス なごみ	デイサービス トリトン
4月	新任研修	花見・誕生日会 新人研修	花見献立	花見 事業実績報告		花見	
5月	ストレスチェック実施	入所者健康診断	子どもの日献立 嗜好調査	入居者健康診断	H・H研修会	運営推進会議	
6月	理事会・評議員会 決算・資産登記 受水槽清掃 風水害訓練 家族会	職員健康診断		収入申告書作成 当初補助金申請 利用料改訂通知	サービス提供責任者研修 テーマ別技術向上研修		花見
7月	防火訓練 人事考課 消防設備保守点検	七夕会 感染症・リスク勉強会	七夕そうめんの献立 土用丑の日メニュー	七夕会	テーマ別技術向上研修	夏祭り	夏祭り
8月	就職セミナー	すいか割	お盆献立				
9月	理事会・評議員会	敬老会 身体拘束勉強会	お月見・お彼岸献立 敬老の日献立	果物狩り		敬老会	敬老会
10月		なごみ祭り	なごみ祭り献立	なごみ祭り		なごみ祭り	なごみ祭り
11月	職員インフルエンザ予防接種 家族会	文化祭 職員インフルエンザ予防接種 入所者健康診断 感染症・リスク勉強会	行楽献立 嗜好調査	紅葉ツアー	四国ブロックH・H研修会	文化祭 運営推進会議	文化祭
12月	防火訓練 人事考課 入所検討委員会 ストレスチェック結果報告	クリスマス会 年賀状作り 職員健康診断（夜勤者のみ）	冬至献立 クリスマス献立、年越しそば			クリスマス会	クリスマス会
1月	消防設備保守点検	餅つき 褥瘡勉強会	おせち料理・七草粥 鏡開き、小正月献立 餅つき	初詣 餅つき		初詣 餅つき	初詣
2月	次年度購入物品調査	節分会	節分献立	節分会 観梅会 懇談会	H・H研修会	節分会	節分会
3月	理事会・評議員会 地震想定訓練	雛祭り	雛祭り献立・お彼岸	雛祭り 個別支援計画の評価・作成		雛祭り	雛祭り
毎月	主任者会議（月2回）	誕生日会 フラワーアレンジメント 各ユニット会 職員会議 各種委員会 ユニットレクリエーション 個別リハビリ 自主トレーニング カンファレンス	リハビリクッキング 給食委員会 選択食（毎週）	誕生日会 買い物ツアー ドライブ	ヘルパー会議 サービス担当者会議 ケース会議 介護講習	誕生日会 リハビリクッキング サービス担当者会議	誕生日会 サービス担当者会議

V 各サービス部門の目標

部 門	目 標 内 容
事 務 部	<p>◇社会福祉法人制度改革を理解し、適正な事務及び会計処理を行う。</p> <p>◇『地域における公益的な取組』の必要性が高まる中で、地域住民・高齢者との交流を図り、施設として何ができるかを協議・検討していく。</p> <p>◇ご家族との情報交換の機会を設け、現状の把握や不安解消に努める。</p> <p>◇定期的に各防災計画の見直しを図り、BCC（事業継続計画）を改善する。また、災害種別ごとの訓練を実施する。</p>
看 ・ 介 護 部	<p>◇報告、連絡、相談を徹底し、状態に合わせたケアの統一、情報の共有に努める。</p> <p>◇摂取・嚥下・食事形態・食事量・口腔ケアの方法など定期的に検討を行い、リスク管理と共に口腔機能向上を目指す。</p> <p>◇気づきや意見を柔軟かつ積極的に取り入れ、利用者、職員共に活気のある生活の場をつくる。</p>
機 能 訓 練 部	<p>◇ノーリフトポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護機器をより安全に使えるよう検討し、「入所者には負担が少なく、事故予防」「職員には腰痛予防」となるよう努めたい。 <p>◇転倒しにくい身体づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚醒度・認知度・活気意欲等の回復を図る。 ・ADL動作の改善や環境面の見直しから、生活動作をより安全に行えるよう努めたい。
介 護 支 援 専 門 員 部	<p>◇本人・家族の意向を十分に取り入れたプランの作成</p> <p>家族の意向を聞き取れる機会を増やす。</p> <p>◇余暇活動の補助をし、利用者に充実した時間を送っていただくよう支援する。</p>
栄 養 部	<p>◇利用者・家族の意向に沿った栄養補給方法・提供内容の最大目標を設定し、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定は必ず利用者・家族のニーズに沿ったものとし、栄養補給方法等選択できるように十分に情報説明、確認を行っていく。 ・利用者一人一人の解決すべき課題を把握し、状況情報を他部署と共有・ケアの統一をしていく。 ・栄養補給方法の選択幅が広げられるよう、食形態の見直しに取り組む。

部 門	目 標 内 容
ケ ア ハ ウ ス	<p>◇入居者の生活がより快適になるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の相談を、他の入居者にも広げられるように記録を整備する。
ヘルパーステーション	<p>◇利用者の心身。生活状況を把握し、日々変化する介護状況の中、よりよいサービス提供ができるよう、常に気づきの目を養い、利用者や家族との信頼関係の構築に努める。</p> <p>◇報告・連絡・相談の周知徹底することにより情報を共有化し、サービスの向上を図る。</p> <p>◇積極的に研修や勉強会へ参加し、訪問介護員のスキルアップに努める。</p>
デ イ サ ー ビ ス なごみ	<p>①個別で温かなサービスを目指す。</p> <p>②職員の長所を生かすことでチームとしての底上げをする。</p> <p>③稼働率 80%を目指す。</p>
デ イ サ ー ビ ス トリトン	<p>◇稼働率 80%を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動を積極的に行い、稼働率上昇を目指す ・ 実人数 40 人以上を目標に大島でトリトンの認知を増やす <p>◇機能訓練に関する知識、技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 片木機能訓練指導員より機能訓練の実施方法等の指導を依頼し、実践的な技術、知識の習得を行う ・ 研修、勉強会への積極的に参加を行い、技術向上を図る <p>◇効率的な業務内容を確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的な業務内容の基盤を作る ・ 業務内容の手順やルールを統一し、職員個々の役割を明確にする